

岐阜市の脱炭素について

～岐阜市ゼロカーボンシティ宣言の目指すもの～



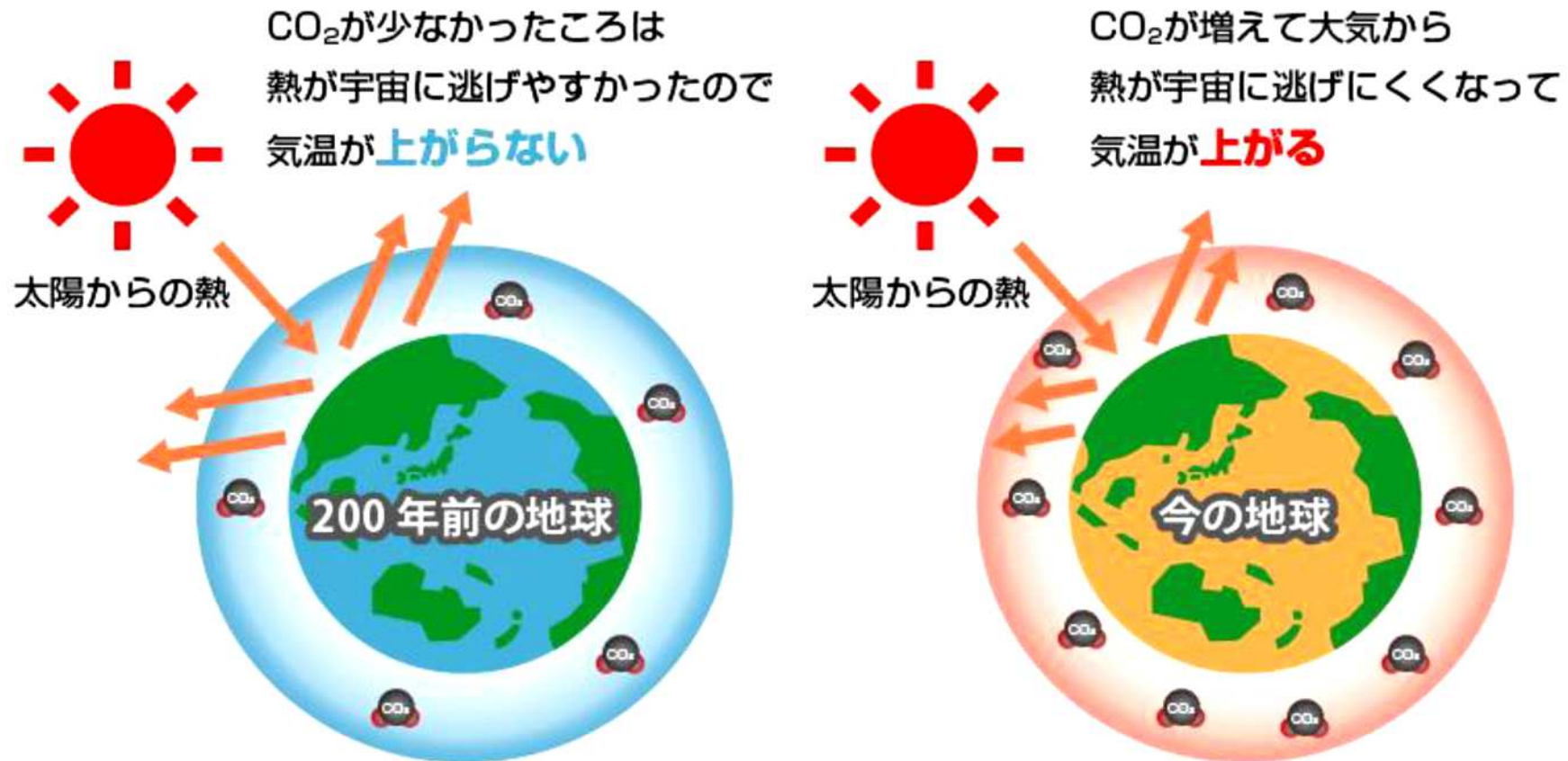
令和8年9月5日

岐阜市ゼロカーボンシティ推進課

0.この会議 について



地球温暖化は、なぜ起こるのか？



- 地球の表面は、**二酸化炭素**や**メタン**などの「**温室効果ガス**」に覆われており、地表面から放射される熱が宇宙空間に逃げていくことを防ぐことによって、**適度な温度**に保たれている。
- 産業革命以降、石炭、石油などの**化石燃料の使用量の拡大**などにより、二酸化炭素が大量に大気中に放出されている。
- 熱の吸収量と宇宙に逃げていく量の**バランスが変化し、吸収量が多くなることで地球全体の気温が上昇**している。

ゼロカーボン市民懇談会について

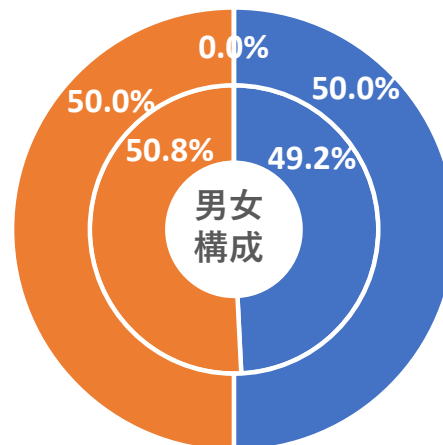
- このゼロカーボン市民懇談会は、全国各地で実施されている「気候市民会議」の「岐阜市版」気候市民会議です。
- ・ 特徴として、
 1. **参加者の構成：**
社会全体の縮図となるように一般から**無作為選出された市民**が参加します。
 2. **情報の提供：**
多様な角度からバランスのとれた**情報提供**を受けます。
 3. **熟慮と対話：**
気候変動対策について**参加者同士**でじっくりと話し合います。
 4. **提言の実施：**
取りまとめた結果を、**政策決定や、さらなる取組に向けた議論**などに活用します。

参考：手引き「気候市民会議の企画」編 オール東京62気候変動対策研究会

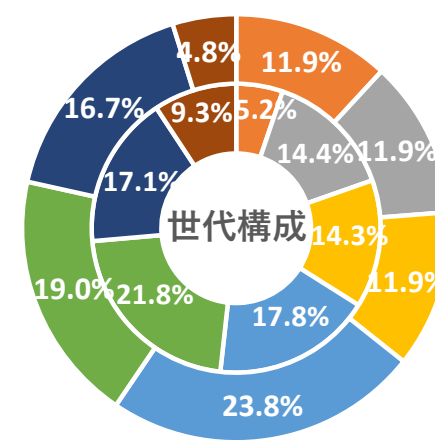
【会議の参加者】

市全域と参加者の
構成比較

- ・内側：市全域
- ・外側：会議参加者



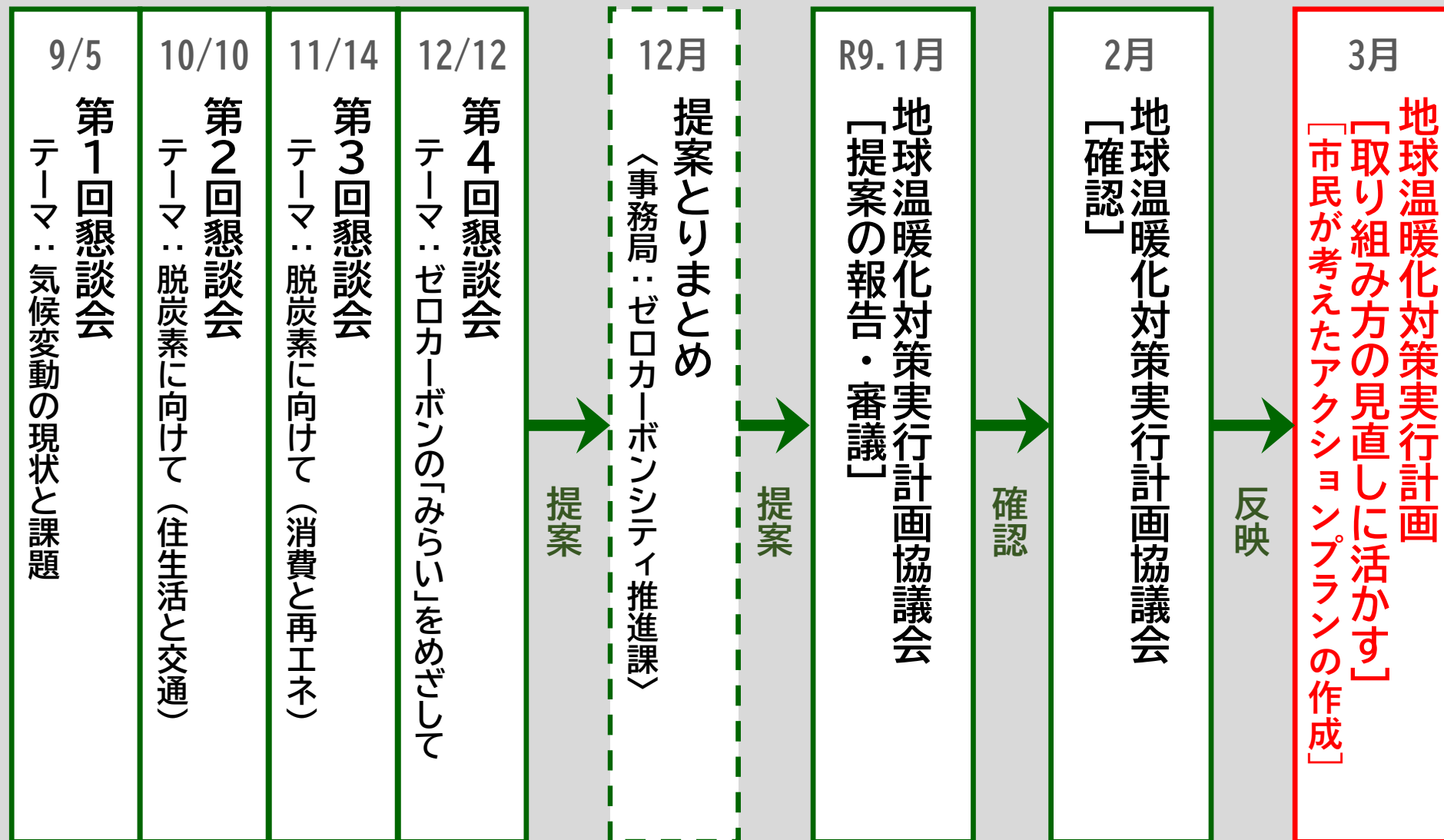
■ 男性 ■ 女性 ■ 回答しない



■ 16-19 ■ 20-29 ■ 30-39 ■ 40-49
■ 50-59 ■ 60-69 ■ 70-74

◆この懇談会で出された「提案」の活用までの流れ

令和8年度



1.本市の 現状



削減目標の設定



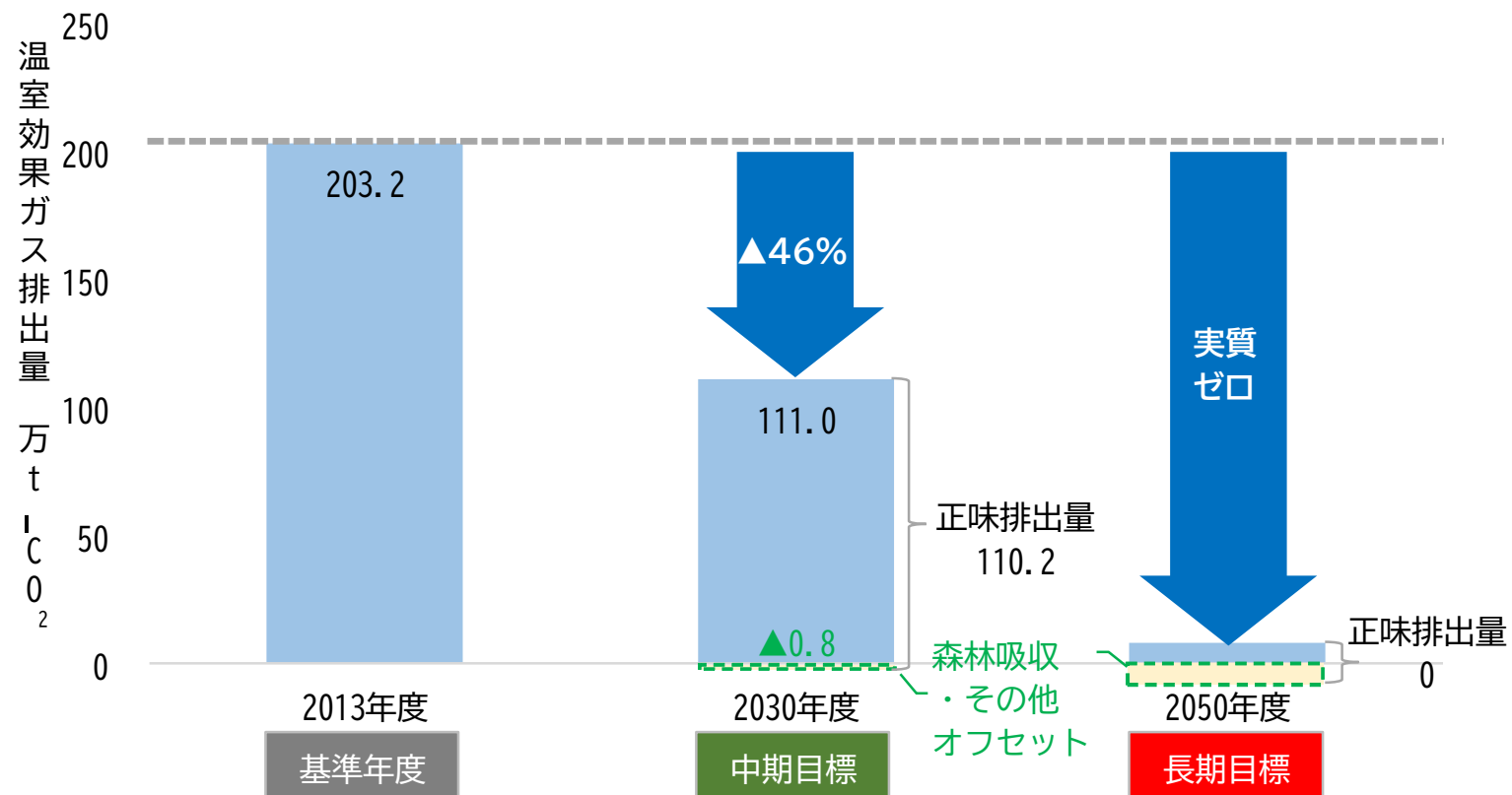
計画期間・目標年度

■中期目標

2030年度における温室効果ガス排出量を、**2013年度比で46%削減**

■長期目標

2050年度における温室効果ガス排出量を、**実質ゼロ**

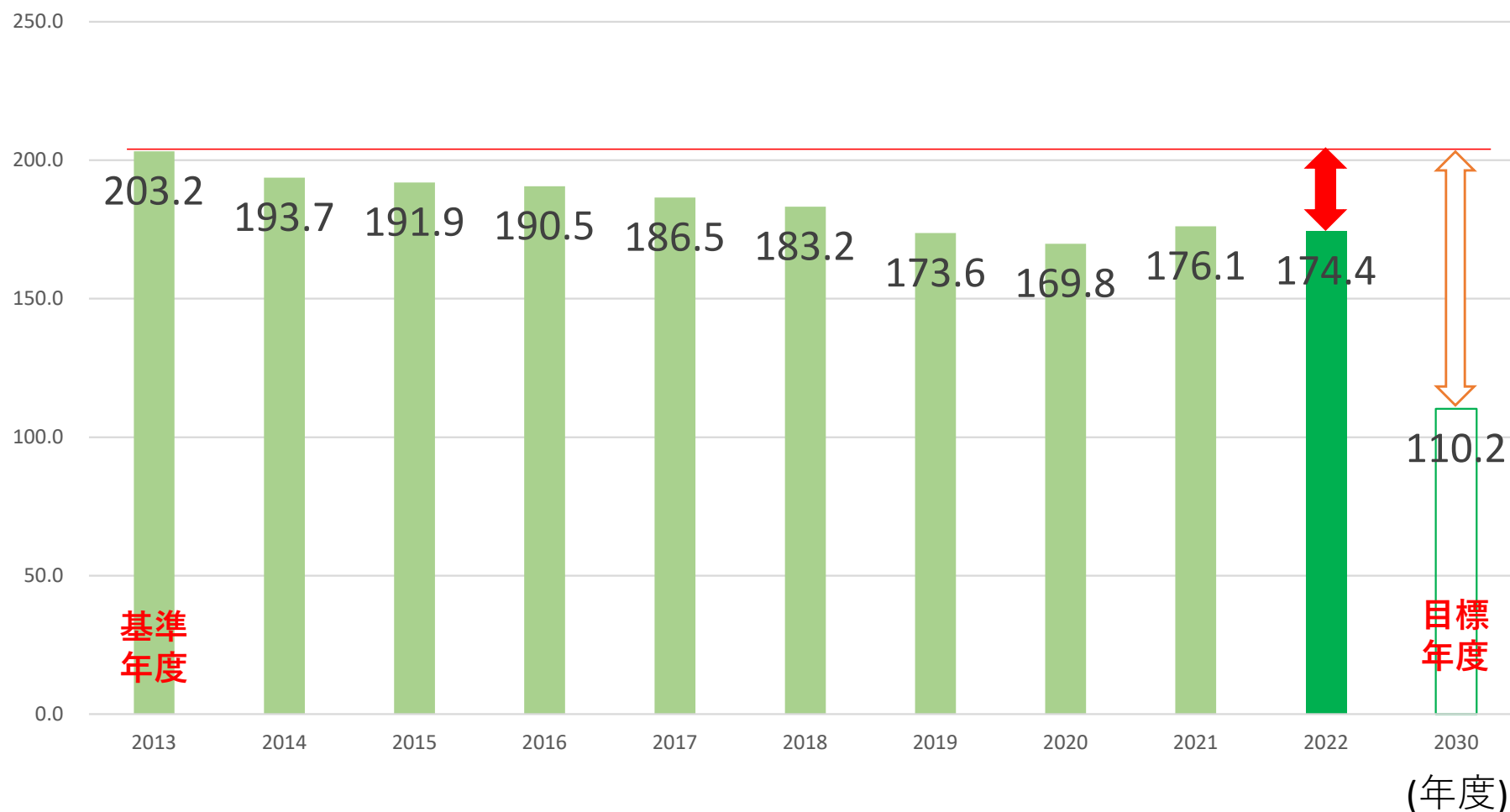


(1) 本市の温室効果ガス排出量



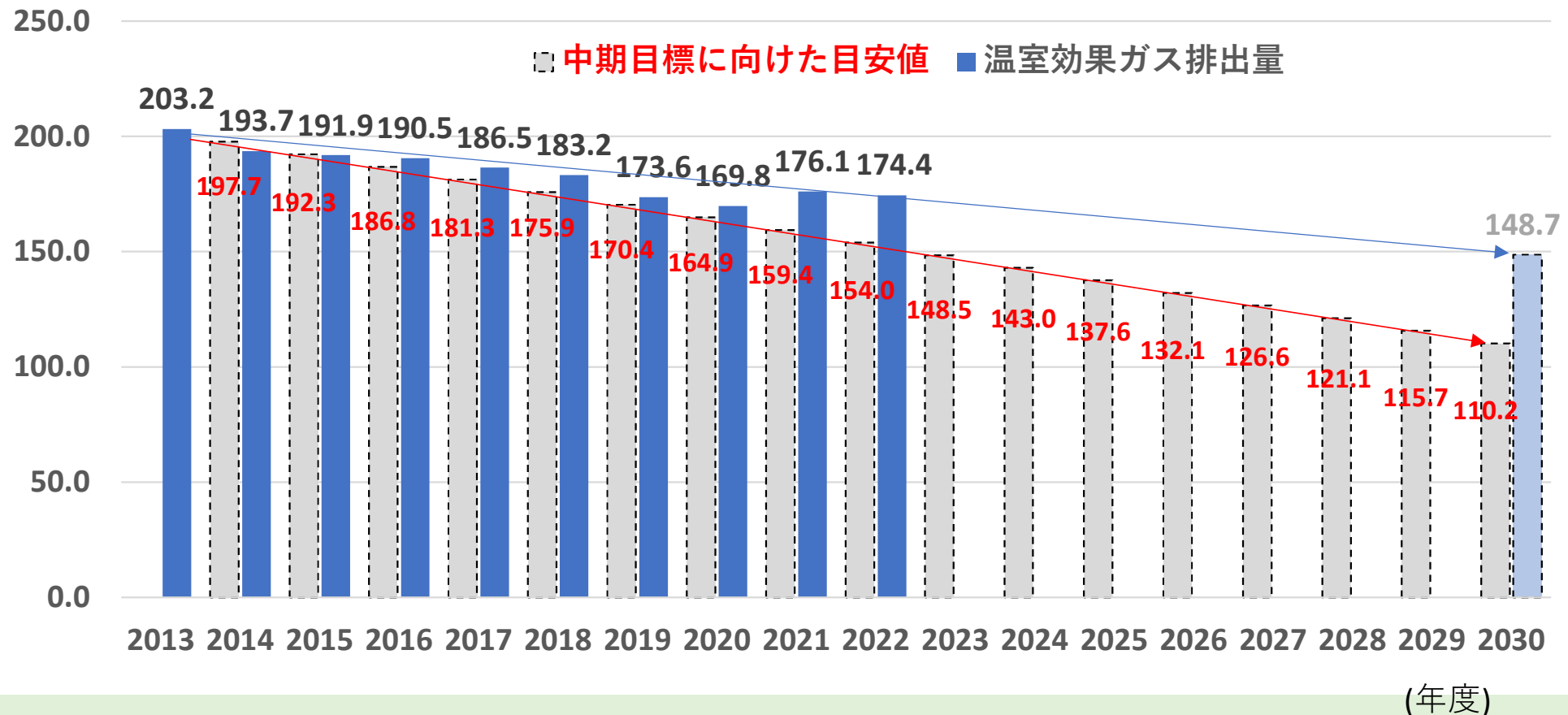
- 総排出量は、2013年度以降、**減少傾向**
- 直近2022年度の排出量は、174.4万t-CO₂で、
基準年度(2013年度)比で、**約14.2%減少**

(万t-CO₂)



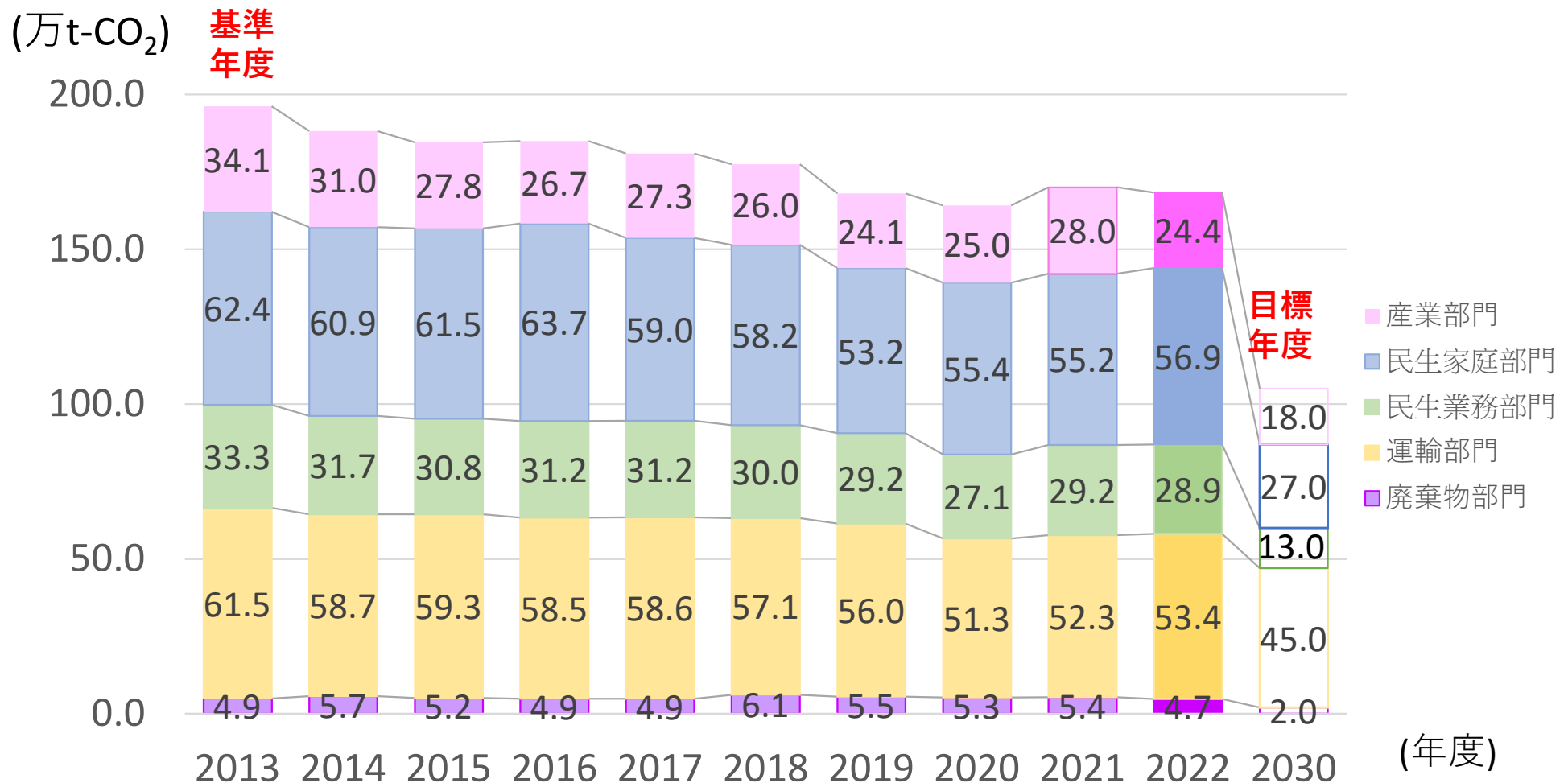
市域の温室効果ガス排出量の推移

- 削減目標の達成状況(灰色の棒グラフは中期目標(2030年度)に向けた目安値)
 - ・ 2022年度排出量 (174.4万t-CO₂) は、目安値 (154.0万t-CO₂) を上回った
 - ・ 2022年度は**基準年度から年平均1.6%減少**しており、
このまま減少していくと2030年には**約27%減少**する見込み
 - ・ 目標達成には更なる削減が必要



(2) 本市の二酸化炭素排出量の特徴

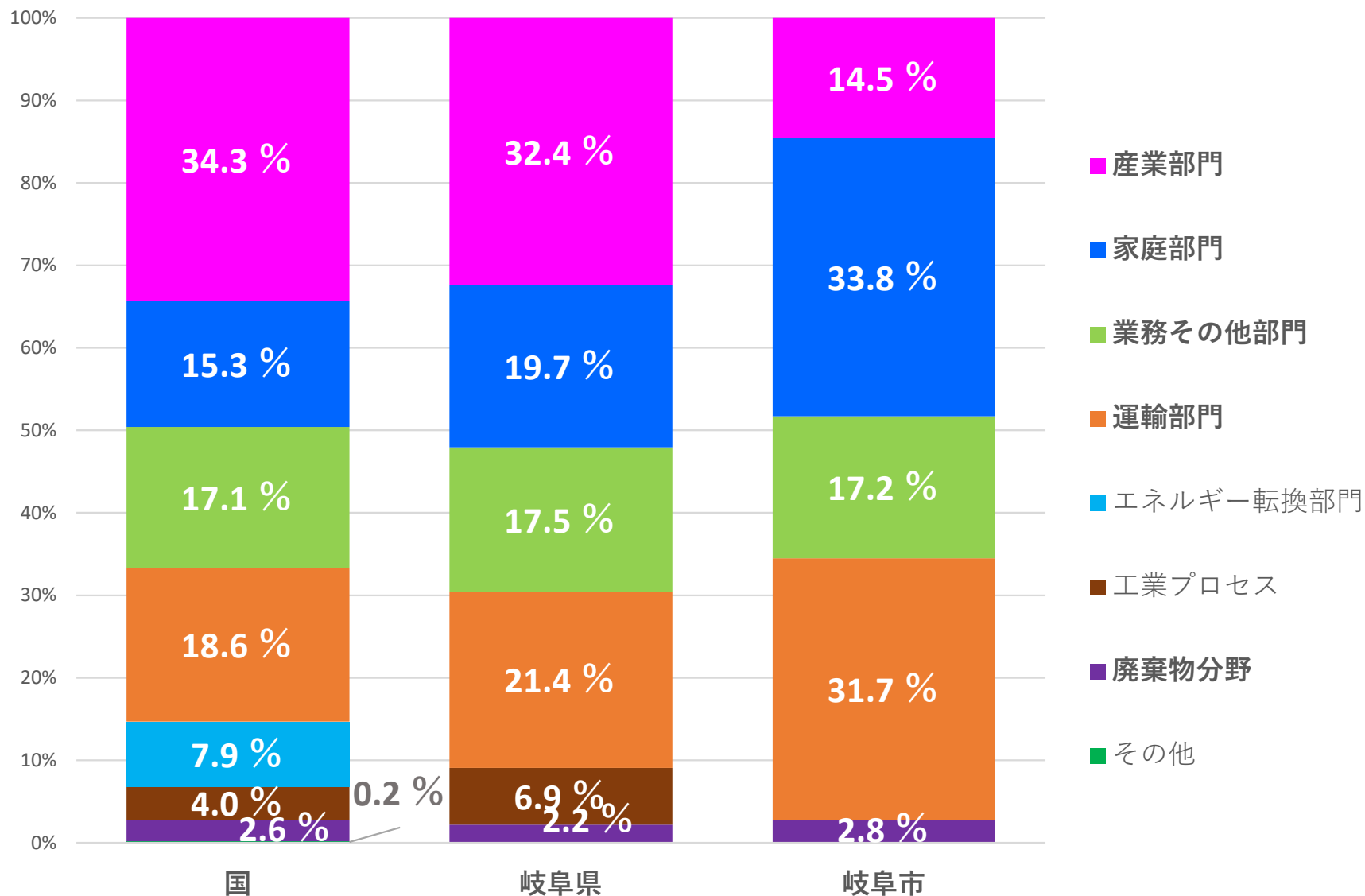
- 大規模な工場が少ないことから、産業部門からの排出量が少なく、一般家庭からの**民生家庭部門**が**56.9万t-CO₂**で全体の**33.8%**、次いで、自動車の使用による**運輸部門**が**53.4万t-CO₂**で**31.7%**を占める。



※グラフに示してある排出量等は、表示されていない小数点以下の数値処理の関係で表示された数値を合計した値と一致しないことがあります。

CO₂排出割合の比較

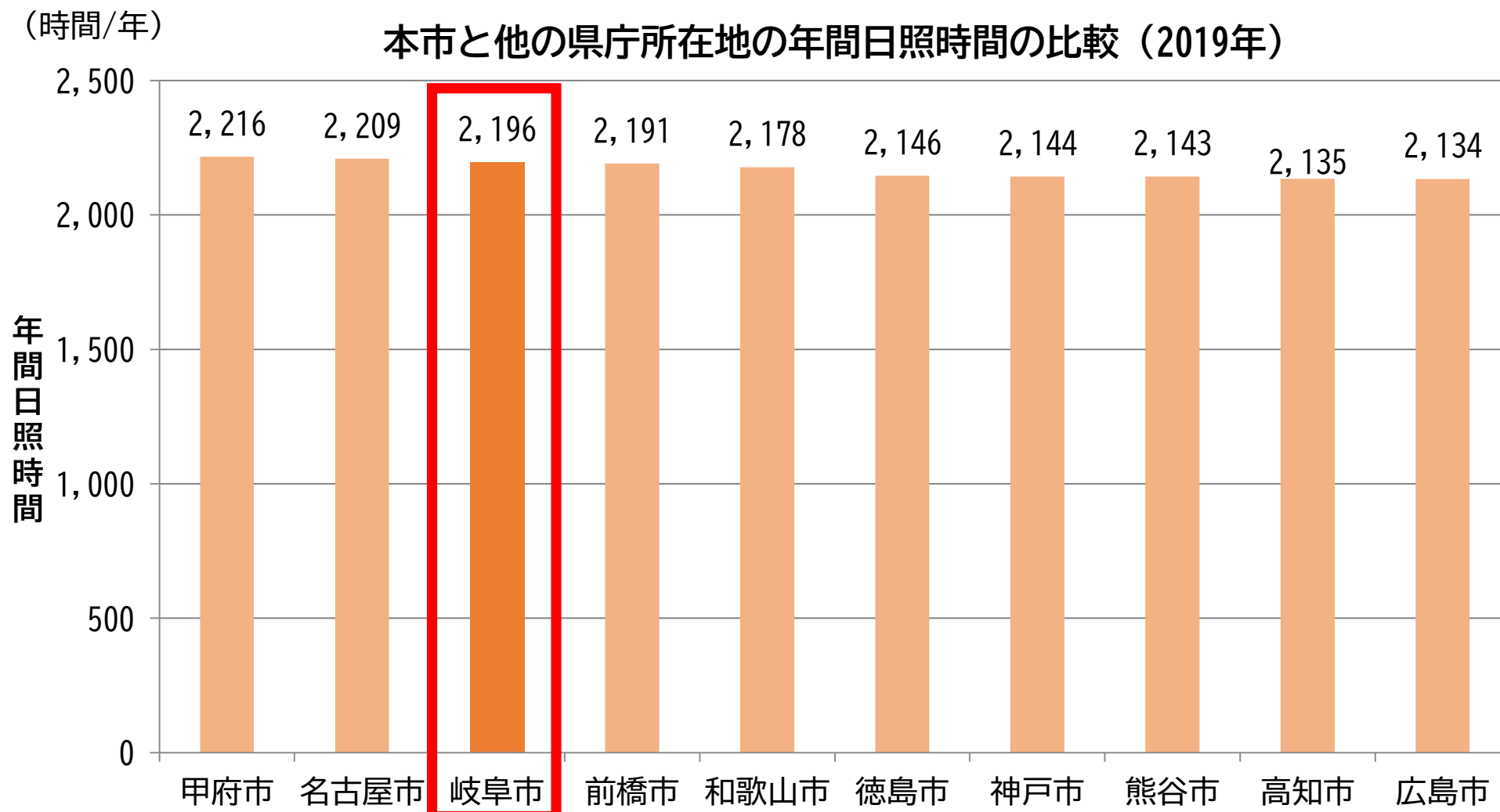
[2022年度]



※グラフに示してある排出量割合等は、表示されていない小数点以下の数値処理の関係で表示された数値を合計した値と一致しないことがあります。

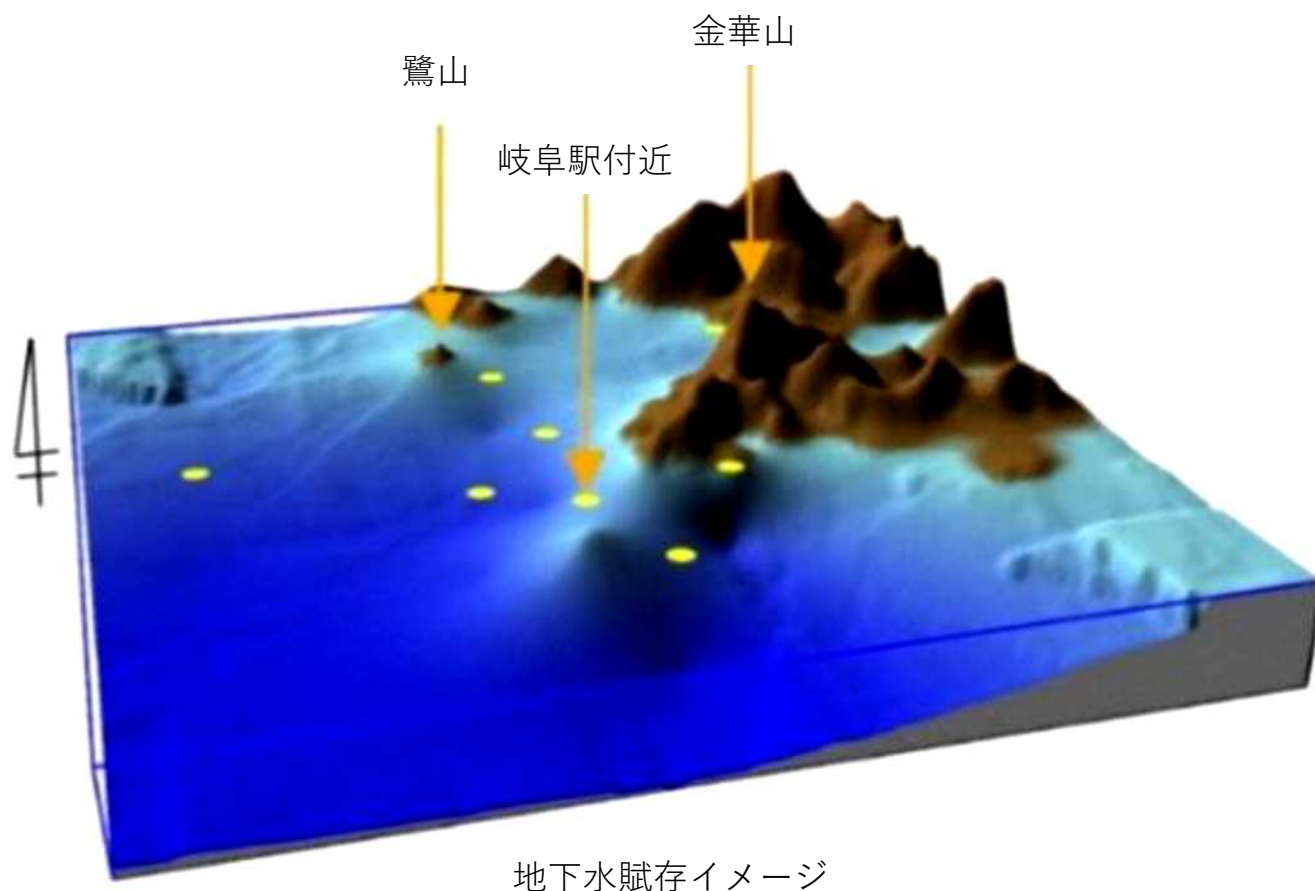
(3) 本市の特性【日照】

- 1年間の日照時間は、47都道府県庁所在地のうち**3位の2,196時間**(2019年)
- **太陽エネルギー**を利用できる、**恵まれた条件**にある。



(4) 本市の特性【地下水】

- 市街地は、長良川から1日に約130万～160万 m^3 /日もの地下水が蓄えられ、地下水の推定存在量は約14億トンと推計
- 市の8カ所のモニタリング地点では、年間降水量に関わらず、地下水位がどの地点でも、ほぼ一定で推移



2.岐阜市 地球温暖化 対策 実行計画



岐阜市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

緩和

地球温暖化対策推進法（1998年策定）

地方公共団体実行計画
（区域施策編）

地方公共団体実行計画
（事務事業編）

適応

気候変動適応法（2018年策定）

地域気候変動適応計画

岐阜市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

緩和

に向けたキーワード

脱炭素化の促進

再生可能エネルギーの利用促進

環境教育の推進



適応

に向けたキーワード

様々な産業・経済活動の維持

自然災害の変化への対応

水や緑、生態系の保全

本計画の計画期間：2023年度から2050年度まで

緩和とは？

原因を少なく

2つの 気候変動対策

適応とは？

影響に備える



気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。



緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。

施策体系

- 緩和と適応の施策を着実に進めていくため、
【緩和アクション】と【適応アクション】を施策体系とする。

緩和 アクション

緩和Ⅰ ライフスタイルの脱炭素化

緩和Ⅱ 脱炭素型まちづくりの推進

緩和Ⅲ 再生可能エネルギーの利用促進

緩和Ⅳ 施設の脱炭素化

緩和Ⅴ 環境教育の推進

適応 アクション

適応Ⅰ 農業・林業・水産業

適応Ⅱ 水環境・水資源

適応Ⅲ 自然生態系

適応Ⅳ 自然災害

適応Ⅴ 健康

適応Ⅵ 産業・経済活動

適応Ⅶ 市民生活・都市生活

削減目標の設定



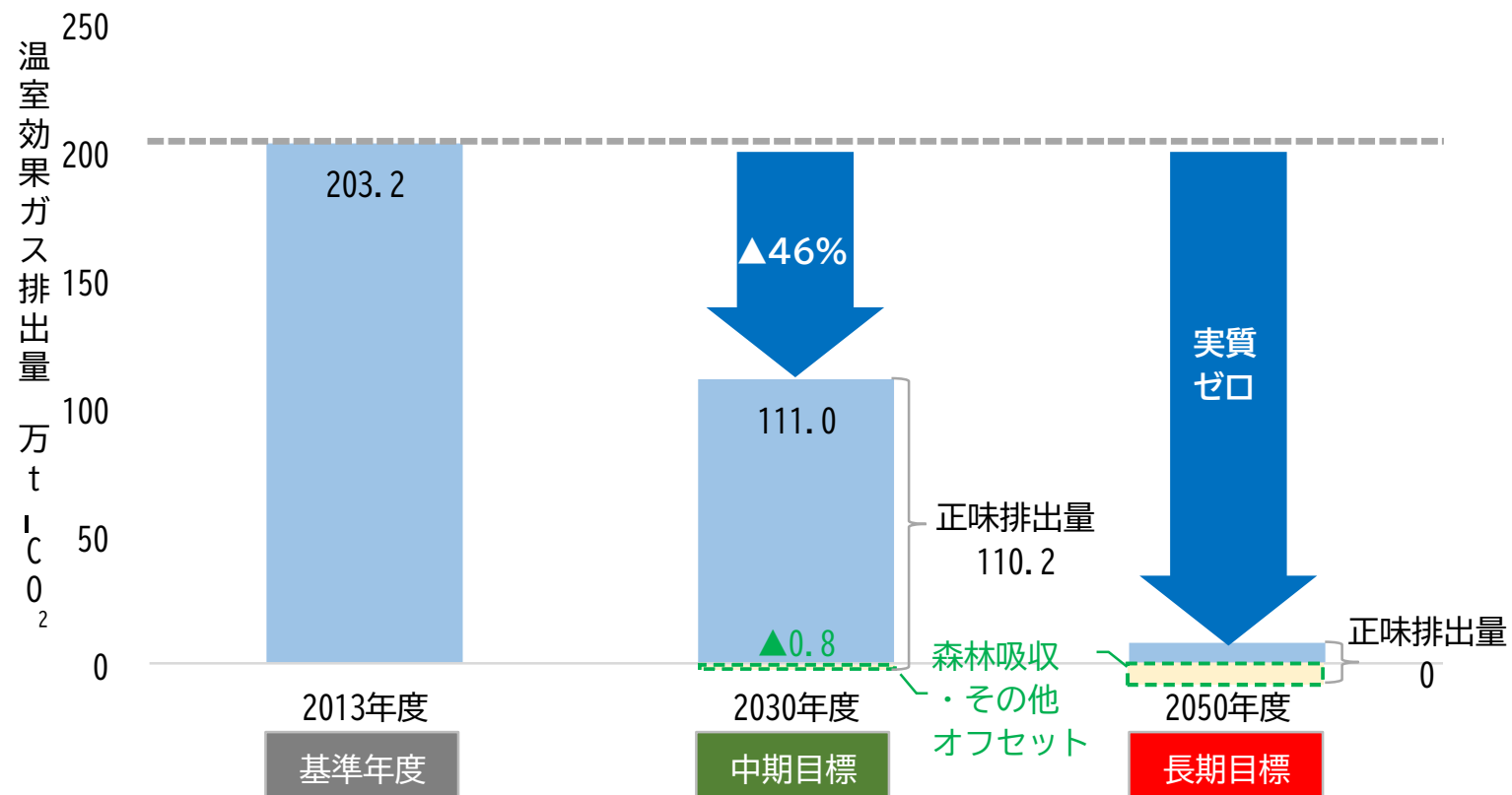
計画期間・目標年度

■中期目標

2030年度における温室効果ガス排出量を、**2013年度比で46%削減**

■長期目標

2050年度における温室効果ガス排出量を、**実質ゼロ**



岐阜市脱炭素社会推進シンポジウム

#岐阜市脱炭素社会推進シンポジウム



岐阜市ゼロカーボンシティ宣言

「ゼロカーボン」の「あいうえお」を記して、みんなであそぼう！からとった「脱炭素社会宣言」

岐阜市は、清流長良川や緑豊かな霊山など、美しい自然に恵まれたまちです。

私たちは、自然に恵まれ、この豊かな環境を享受し、共生しながら、生活や産業、文化、歴史を育んできました。

しかし、近年、地球温暖化に起因するといわれる気候変動により、世界的に深刻な自然災害が発生し、本市においても、気温の上昇や大雨の増加とともに、自然生態系や河川、市民生活や産業など、様々な分野において、その影響が顕在化しています。

今後迎える私たち一人ひとりは、この地球温暖化の問題を共有し、まして、市民としての行動に貢献し、本市の進み豊かな環境と安心できる生活を、未来を担う子ども達に継承していかなければなりません。

また、積極的に気候変動に取り組むことは、これまでの岐阜県や経済社会の発展をもたらした、決定的成長に繋がるチャンスと捉えています。

そこで、本市は、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目標とし、市民・事業者・行政の「オール岐阜」の力を結集し、「ゼロカーボンシティ」の実現にチャレンジすることをここに宣言します。

令和5年5月18日

岐阜市長 齋藤 正典

岐阜市ゼロカーボンシティ宣言 R5.5.18

地域脱炭素とそれぞれの役割

地域脱炭素

2030年度46%削減、2050年度実質ゼロの実現には、地域・暮らしに密着した地方公共団体が主導する地域脱炭素の取り組みが重要



地域の特性に応じた脱炭素の取り組み（地域脱炭素）は、
様々な地域課題の解決にも貢献し、地方創生に資する。

■ 行政(岐阜市)の役割

市は、地球温暖化対策に向けた取り組みを**総合的かつ計画的**に推進していくための**主導的な役割**を担う

■ 市民の役割

地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を削減するために**市民一人一人が身近なところから取り組む**役割を担う

■ 事業者の役割

自らの事業活動と地球温暖化への影響を正しく理解し、行政や市民と**連携しながら、地域社会の一員としての役割**を担う